FRONTEO

株式会社FRONTEO
会社案内

FRONTEOの理念

Bright Value

記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さない

私たちは AI を駆使し、
記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないための
最適なソリューションを提供することにより、
社会のさまざまな場面で必要かつ適切な情報に出会える
フェア（fair）な世界を実現します。

FRONTEO

FRONTEO：Front（英語）最先端 ＋ eo（ラテン語）前へ進む

Frontier Technology Organizationの略語で「進歩的かつ先端的な価値創造集団」という意味をあらわしたものです。

シンボルマーク（Bright Symbol）は放射状の軸線でAIを核とした企業と事業の広がりやその可能性を表現。グラデーションで視覚化された求心力と遠心力は、多様性と強いパワーを象徴しています。

専門家の判断を支援する特化型AI「KIBIT」の社会実装を推進

FRONOTEOは、自社開発の特化型AI「KIBIT（キビット）」を活用し、ライフサイエンスAI、経済安全保障、ビジネスインテリジェンス、リーガルテックAIの各分野において、社会課題の解決に向き合う専門家の判断支援を通じて、イノベーションの起点を創造しています。

各分野の専門家は、その対象業務において、メールや資料、文献など多岐にわたる言語情報の分析を行っていますが、今日、社会で取り扱う情報量は肥大化の一途を辿っており、そこから価値ある適切な情報を短期間に選別・処理することは、人の力では難しくなっています。KIBITは、一般的な汎用型AIとは異なり、大量の言語情報を教師データ量やコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度に解析することが可能です。加えて、解析した情報をマップ化する特許技術により、専門家に大量の情報を視覚的・直観的に把握することを促し、インサイトに働きかけます。

例えば、画期的な新薬の研究開発においては、疾患との関連性と新規性の高さを併せ持つ標的分子を見出すことが必要不可欠です。一方で、このような標的分子を発見するには、専門家（創薬研究者）の発想力や偶然に依存せざるを得ないという現状があります。FRONTEOは、日米の特許を有する独自の自然言語処理AI技術を用いて、この課題を科学的かつ体系的に解決し、新規性の高い標的分子や適応症、バイオマーカーなどを検出・提示するAI創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」を通じ、First in Class（画期的医薬品）の創薬を実現します。

FRONTEOは、KIBITの研究開発と社会実装に注力し、「記録に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」という理念の下、さらなる成長に邁進します。

株式会社FRONTEO 代表取締役社長

FRONTEO 事業モデル

FRONTEOは自社開発の特化型AI「KIBIT」を活用して、社会課題の解決に日夜努力する専門家の判断を支援します

訴訟、不正、コンプライアンス違反、病気――。発展し便利になった現代社会でも、解決すべき課題は尽きません。KIBIT は、膨大なデータの中から発見を導き専門家を支援する特化型 AI。課題解決に日夜努力する専門家に、まったく新しい視点や気づきを提供します。

なぜ、専門家を支援するのか

社会には多くの課題が山積しています。それらの解決に向けたイノベーションには、研究者や弁護士、捜査官、医師など、その分野の高度な訓練を重ねた専門家の力が不可欠です。

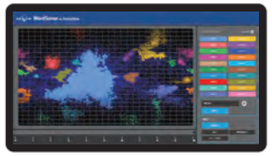
AI が専門家の右腕となり、課題解決へのヒントを見つけ出せれば、専門家は社会課題を解決し、社会をより良いものへと導くことができます。KIBIT はこれまで大手金融機関や製造業、官公庁などで導入され、FRONTEO はその運用に伴走してきました。FRONTEO は AI の社会実装をさらに広げ、専門家の高度な判断の支援を通して社会課題の解決に貢献します。

既知から未知を発見する専門家専用のKIBIT

既知の情報の中にある答えそのものを提示するのではなく、「マップ化」というアウトプットをすることで、専門家の思考や判断を助け、さらなる発想を促します。また、KIBITは既知の文献から未知の関連性をも予測して疾患の遺伝子ネットワークを描き、新たな発見に導くなどの、既知から未知の発見にも活用可能です。プロットマップやネットワークなど、敢えてマップの形で専門家に情報を示すことで、専門家は情報同士の作用や関連まで見渡せ、従来、偶然に依存していた発見を科学的・体系的に実現し、新しい発見や仮説への着想を得ることができます。

インサイトと発見を導くマップ化技術

論文特化・概念検索 AI
KIBIT Amanogawa



お客様の声の集約・解析システム
KIBIT WordSonar for VoiceView

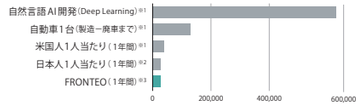
疾患の遺伝子ネットワーク
AI 創薬支援サービス

KIBITのアルゴリズムはLLM（大規模言語モデル）とは異なり、シンプルで、専門家の優れた判断や暗黙知を再現します。少量の教師データでも使用可能でCPUレベルで高速・高精度の解析をするKIBITを、私たちはGreen micro AIと呼んでいます。

Green microAI

CO_2 排出量の比較（単位：lbs）

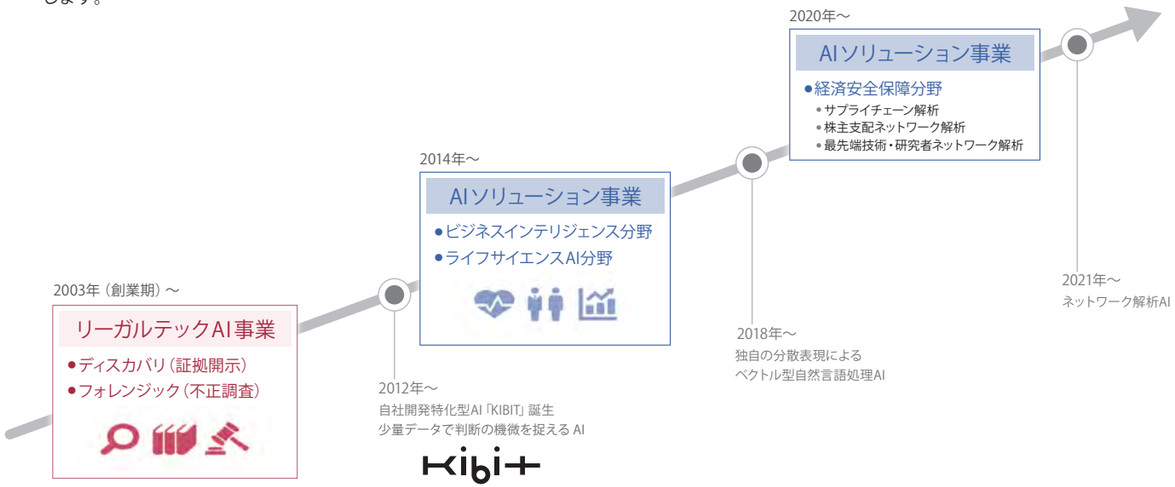
FRONTEOのAIは、少量の教師データ、低消費電力でも精度の高いデータ処理を行うことができます。



※1 Energy and Policy Considerations for Deep Learning in NLP, College of Information and Computer Sciences University of Massachusetts Amherst (Jun 2019) から抜粋
※2 日本のCO2排出量及び日本の人口からFRONTEO作成
※3 ※1の論文と同様の計算方法により、FRONTEO作成

事業分野

FRONTEO の事業は、自社開発の特化型 AI「KIBIT」を活用したリーガルテック AI 事業と AI ソリューション事業（ライフサイエンス AI・経済安全保障・ビジネスインテリジェンス）で構成されています。
FRONTEO は、膨大な量のテキストデータや複雑なネットワークを解析し、意味ある重要な情報の抽出や、既知情報からの未知の関連性の発見を実現する、独自の自然言語処理技術を自社で研究開発しています。こうした独自技術を強みに、専門家の判断を支援する AI ソリューションの社会実装に注力し、多様な分野で事業を展開して企業・機関や社会の課題解決に貢献します。



導入企業数（累計）
366社
※AIソリューション全体
（2024年11月30日）

（抜粋 五十音順）

ライフサイエンスAI

既知情報から未知の関連性を発見することに強みを持つKIBITを活用したAI創薬・AI医療機器で、革新的医薬品開発や疾患の早期発見、QOL向上に貢献

創薬とAIに精通した研究者が、創薬プロジェクトの鍵を握る標的分子や適応症探索、それらを裏付ける仮説の生成、シーズの評価など、革新的なソリューションを短期間で提供します。また、AI医療機器や医療安全を支援するAIシステムを研究開発・提供し、医療の質と患者のQOL向上に貢献します。

経済安全保障

膨大な情報と見えないネットワークに潜むリスクを可視化し、経済安全保障に関する事業・経営戦略の策定と推進を支援

グローバルな情勢と経済環境が大きく変化する中、サプライチェーンにおける規制や調達・人権リスク、投資による支配、機微情報の漏洩など、隠れたリスクを見つけるアプローチで、経済安全保障対策の判断を支援します。経済安全保障対策AIソリューションKIBIT Seizu Analysisは、「サプライチェーン解析ソリューション」「株主支配ネットワーク解析ソリューション」「研究者ネットワーク解析ソリューション」の 3 つの機能を提供します。

ビジネスインテリジェンス

企業のテキストデータ資産を法令違反リスクの検知やコンプライアンス監査、技術伝承、業務効率化、経営判断などに幅広く活用し、ビジネスに貢献

金融や製造、建設、官公庁など幅広い領域を対象に、KIBITを活用したソリューションを提供します。法令順守への社会的関心が高まる中、企業の継続的な成長に欠かせないコンプライアンス監査や、労働人口構成の変化を背景とした専門業務の技術伝承、業務効率化などを支援し、ビジネスチャンス創出に寄与します。

リーガルテックAI

20年の実績を持つリーディングカンパニーとして訴訟や不正調査の証拠発見における圧倒的な効率化・精度向上を実現

米国民事訴訟の証拠開示手続きで求められる「電子データの保全・調査分析（eディスカバリ支援）」と不正調査での「デジタル・フォレンジック調査」をはじめ、退職者による情報漏洩対策やサイバーセキュリティ調査など、証拠を「発見・保全」する多様なサービスを展開しています。KIBITの優位性を生かして他社との差別化を図り、日米などの市場で活用実績を積み上げています。

■国際訴訟支援件数 8,500 件以上（2024 年 11 月 30 日）
■不正調査支援件数 2,200 件以上（同）

ライフサイエンスAI

既知情報から未知の関連性を発見し、革新的な医薬品の研究開発を加速

AI 創薬支援サービス「Drug Discovery AI Factory」*1

AI「KIBIT」× 創薬研究者 = 創薬研究の仮説を生み出す

独自の自然言語処理技術をベースとして活用し、3000万報以上のPubMed*2収載文献データやSpringer Nature社の600雑誌25年分のフルテキストデータ、ゲノム情報、OMICSデータなどの解析を行います。既存の文献から疾患関連性が未報告の、新規性の高い標的分子を発見し、創薬につながる疾患メカニズムを含む有益な仮説とともに提案して、創薬研究の大幅な効率化・加速化・成功確率向上を支援します。

*1　AIと創薬に精通したFRONTEOの創薬研究者が、KIBITの自然言語処理技術と独自の解析手法を駆使し、標的分子・適応症探索やその裏付けとなる仮説を提供するAI創薬支援サービス
*2　米国国立医学図書館の国立生物科学情報センターが運営する生物医学領域の論文データベース。https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/

KIBIT Amanogawa

発見を導く論文特化・概念検索 AI システム

「KIBIT Amanogawa」は、論文特化・概念検索*3AIシステムです。独自の特許技術を用いた概念検索により、創薬につながる新たな情報やヒントの効率的な発見を通して研究者を支援します。

*3　検索条件の単語・文章について、文字列としての一致ではなく、その意味や内容の類似度に基づいて検索する手法

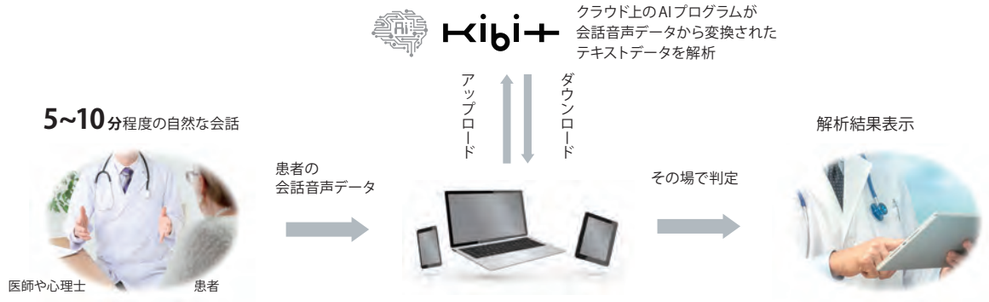
- 創薬研究者が仮説生成のために開発したAIシステム
- 分布仮説に基づいたアルゴリズムで、類似性・関連性の高い論文を抽出
- 仮想的に概念を足し引きし、新たな着想を得る

AI医療機器

患者と医療従事者の会話を AI が解析し、疾患を客観的に評価

自然言語を用いたAI医療機器の開発

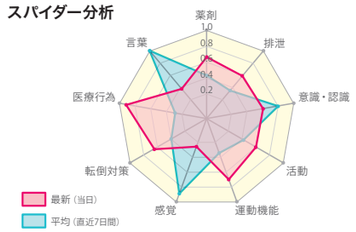
FRONTEOは、通常の診療場面での日常会話から、認知症やうつ病、統合失調症、ADHDなどの精神神経疾患をスクリーニングすることのできる画期的なAIモデルの開発を進めています。専門医に加えて一般医（家庭医）による使用や、遠隔診療などでの活用を想定しています。
診断時に医師・患者の双方にかかる負担を軽減し、疾患の早期発見や新たなデジタルバイオマーカーとして利用されることを目指します。

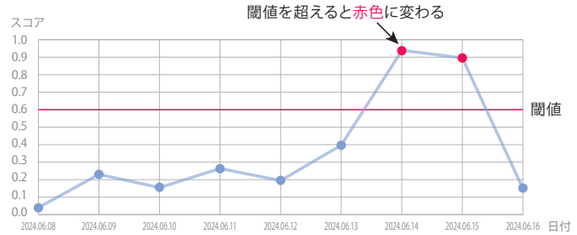


KIBIT Coroban

電子カルテや看護記録を解析し、患者一人ひとりの転倒・転落リスクを予測

転倒転落予測AIシステム「KIBIT Coroban」は、電子カルテや看護記録などに記載されたテキスト情報をKIBITで解析し、入院患者の転倒・転落リスクを可視化。ハイリスクの患者について1～7日前にアラートを発出し、転倒・転落の予防を支援します。





経済安全保障

経済安全保障対策 AI ソリューション

Kibit Seizu Analysis

サプライチェーン、株主支配、研究者ネットワークなど企業を取り巻く膨大で複雑な情報から、人の力では到達が困難なインテリジェンスを示し、企業や官公庁の戦略的な意思決定に寄与する革新的なプラットフォームです。

KIBIT Seizu Analysis　3つのベネフィット

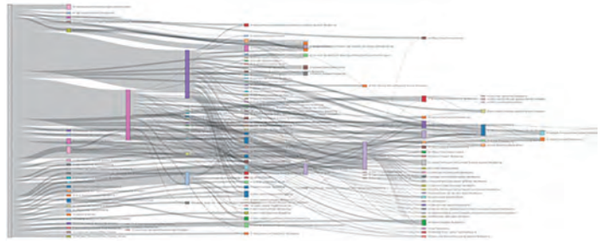
1. 3つの機能（サプライチェーン解析、株主支配ネットワーク解析、研究者ネットワーク解析）を個別もしくは横断して活用することでリスクを多角的に可視化
2. ネットワーク上にあるエンティティと世界の制裁リスト掲載組織とのつながりの有無をチェック
3. 完全な国産 AI ソリューションで、海外への情報流出などのセキュリティリスクをクリア

経済安全保障を支える独自の技術

サプライチェーン解析ソリューション

サプライチェーンのさまざまなリスクを可視化して俯瞰。経路の網羅的調査も支援

オープンソースから分析対象企業（群）の取引ネットワークを生成し、ネットワーク構造に基づき依存度を評価する指標（チョークポイントスコア）を算出します。これを産業分類などの企業属性と組み合わせて、サプライチェーンにおけるリスクのマクロ分析を行うとともに、何らかの制裁リストに掲載されている企業（群）と分析対象企業（群）の間の経路を網羅的・効率的に調査するためのツールを提供します。
独自の企業のベクトル表現に基づくサプライチェーンの骨格部分の推定技術、商流の俯瞰技術、経路の優先度推定技術などを有し、レポートなどに活用しています。



ある企業の下流側商流の俯瞰例

株主支配ネットワーク解析ソリューション

事実上の支配者と、その影響力が及ぶ経路を抽出

指定した企業の株式を直接的・間接的に保有する企業・組織を網羅的に調査し、制裁リスト（例：米国商務省産業安全保障局が定めるエンティティリスト）対象企業などの懸念組織が強い支配力を持っていないかを確認して、発生し得るリスクに備えるためのソリューションです。
FRONTEO の特許技術である Power Index は、従来の代表的な計算方法では見つけ出すことが困難だった、遠隔からの事実上の支配者（実効間接持ち株比率）と、その影響力が及ぶ経路を発見できる新たな計算方法です。

従来の計算方法で直接的な持ち株による支配を解析した画面。
直接支配されている企業のある国を赤く表示

Power Index で解析した画面。
実効支配されている企業のある国を赤く表示

ビジネスインテリジェンス

KIBIT が専門家の暗黙知を再現

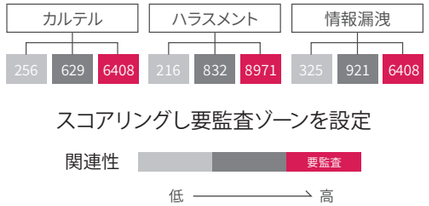
KIBITを搭載したソリューションにより、企業のコンプライアンス体制構築やDX推進に貢献します。

コンプライアンス監査

メール&チャット監査 AI ソリューション

Kibit Eye

メールやチャット、テキスト化音声データなどを解析し、不正リスクの予見やビジネスチャンスの発見、顧客満足度の向上を支援するメール&チャット監査AIソリューションです。すべてのテキスト情報の類似性や文脈を捉えて特徴量をスコアリングし、リスクが高いと予測されるデータを特定することで、確認作業を効率化し、業務工数を大幅に削減します。業務に内在するリスクを可視化し、経営危機から企業を守ります。

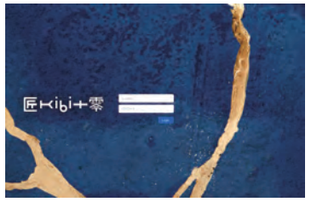


- さまざまなコミュニケーションツールに対応
- 微妙なニュアンスを検知し要監査データを抽出
- 簡単2ステップで到達できるシンプルな操作性

技能伝承

KIBIT 版 RAG による専門家の技能伝承支援 AI

匠Kibit零



日本企業の技能伝承を加速するナレッジシェアシステムです。時期や部署ごとにフォーマットの異なる未整理データを解析し、眠っていた必要な情報を高精度で抽出。抽出した解答の要約には、独自のRAGスキームを用い、生成AIで課題とされるハルシネーションのリスクを回避します。

- 概念を理解するKIBIT検索で、最適解を導き出す
- 門外不出の秘密情報もオンプレミスのクローズド環境で安全に活用
- 各業界特有のデータ構成を熟知したスタッフがサポート

リーガルテックAI

社内不正から国内外の大型訴訟・調査委員会事案まで証拠を「発見・保全」フォレンジックサービス市場3年連続国内シェア1位*の実力

7つのサービス

米国を中心とした国際訴訟対策 ～eディスカバリ支援～

企業不正調査 ～フォレンジック調査～

退職者 PC 保全サービス

企業不正の予兆検知 ～ saki-mori ～

サイバーセキュリティ調査

クレジットカード不正調査

デジタルデータ解析トレーニング

*出典：株式会社アイ・ティ・アール「ITR Market View：エンドポイント・セキュリティ対策型／情報漏洩対策型SOCサービス市場2023」フォレンジックサービス市場：ベンダー別売上金額シェア（2021～2023年度予測）

FRONTEOが選ばれる3つの理由

1. **国際訴訟・不正調査の"パイオニア"**
   2003年の創業時からeディスカバリやデジタル・フォレンジック調査などの支援に取り組む、日本におけるパイオニア企業
2. **圧倒的な実績と経験**
   国際訴訟支援件数：8,500件以上、不正調査支援件数：2,200件以上（2024年11月30日）
3. **特化型AI「KIBIT」の優位性**
   少量の教師データで解析可能。デジタル・フォレンジック調査で必須となる網羅性を上げ、限られた時間で高精度な調査を実施

FRONTEO Legal Link Portal

2020年6月の開設以来、有事対応に関わる企業の法務・知財部門・管理部門・情報システム部門といった企業の有事対応担当者と、国内外の弁護士や専門家をつなぐ日本最大級のプラットフォーム。

動画数：900本以上
登壇弁護士・エキスパート数：360人以上
登録会員数：1.8万人以上
（2024年11月30日）

主な製品・サービス一覧

自社開発の特化型AI「KIBIT」を活用したソリューション

【ライフサイエンスAI】

AI創薬

- **AI創薬支援サービス（Drug Discovery AI Factory）**
- **KIBIT Amanogawa**：発見を導く論文特化・概念検索AI

AI医療機器

- **会話型 疾患診断支援AIプログラム**（開発中）

転倒転落予測

- **KIBIT Coroban**：転倒転落予測AIシステム
- **KIBIT Coroban Care**：介護施設向け 転倒転落予測AIシステム

【ビジネスインテリジェンス】

- **KIBIT Eye**：メール＆チャット監査AI
- **匠KIBIT零**：KIBIT×RAGによる専門家の技能伝承支援AI
- **KIBIT Knowledge Probe**：ビジネスドキュメント解析支援AI
- **KIBIT WordSonar for AccidentView**：製造業/建設業における事故リスク検知AI
- **KIBIT WordSonar for VoiceView**：お客様の声からのリスクおよび機会検出AI

【経済安全保障】

- **KIBIT Seizu Analysis**：経済安全保障対策 AIソリューション

【リーガルテックAI】

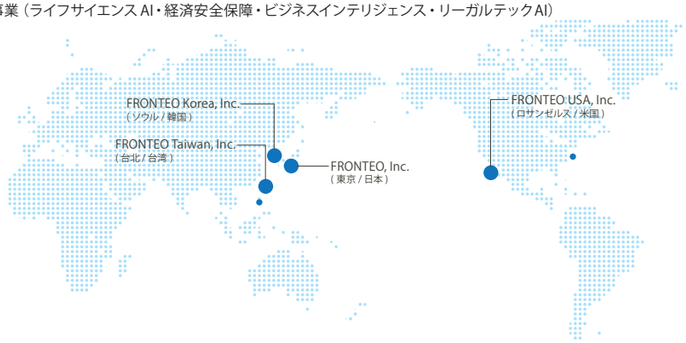
- **eディスカバリ支援**
- **フォレンジック調査**
- **クレジットカード不正調査**
- **サイバーセキュリティ調査**
- **デジタルデータ解析トレーニング**
- **退職者PC保全サービス**
- **saki-mori**：企業不正の予兆検知
- **Data Cellar**：データ記憶媒体保管サービス
- **KIBIT XAMINER**：デジタル・フォレンジックソフトウェア

FRONTEOグループ概要

（2024年3月31日）

株式会社FRONTEO　人工知能を活用したデータ解析事業（ライフサイエンスAI・経済安全保障・ビジネスインテリジェンス・リーガルテックAI）

- FRONTEO USA, Inc.　リーガルテックAI事業
  - 拠点：ロサンゼルス（本社）、ニューヨーク、マニラ
- FRONTEO Korea, Inc.　リーガルテックAI事業　AIソリューション事業
- FRONTEO Taiwan, Inc.　リーガルテックAI事業　AIソリューション事業



会社情報

商号	株式会社FRONTEO FRONTEO, Inc.
設立	2003年8月8日
本社所在地	東京都港区港南2-12-23 明産高浜ビル
代表取締役社長	守本 正宏
従業員数	225人（連結）
資本金	898,618千円（2024年8月31日時点）
売上高	7,375,273千円（2024年3月期連結）
上場証券取引所	東京証券取引所グロース（証券コード：2158）
主要取引先	民間企業（化学・機械・教育・金融・建設・小売・自動車・商社・情報通信・食品・製薬・電子部品・電力・保険など）、官公庁（法執行機関・各種監視委員会）、国内外法律事務所、医療機関
加盟団体（五十音順）	言語処理学会、国策研究会、人工知能学会、デジタル・フォレンジック研究会、日本カード情報セキュリティ協議会、日本公認不正検査士協会、日本セキュリティ・マネジメント学会、LINK-J　ほか

本会社案内に記載のKIBIT、Green Micro AI、Drug Discovery AI Factory、Amanogawa、Coroban、KIBIT Eye、匠KIBIT、KNOWLEDGE PROBE、WordSonar、Seizu Analysis、saki-mori、Data Cellar、XAMINERは株式会社FRONTEOの商標です。

株式会社FRONTEO
〒108-0075 東京都港区港南2-12-23 明産高浜ビル
TEL: 03-5463-6344
www.fronteo.com

© 2025 FRONTEO, Inc.